科目名	法制史　　Legal History						
科目担当者	柴田 博子　　SHIBATA Hiroko						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	法制史は、法律や制度の歴史を明らかにする学問である。現在の日本国の法体系は、明治時代に西洋の近代法を基礎として形づくられたものであるが、西洋法を受容する以前にも、日本には社会を規律していく上での様々な規範や制度が存在した。 本講義では、おもに日本の前近代における国制や公法の領域を中心に扱い、国家と法の形成およびそれらの特質と展開過程を取りあげる。						
授業の到達目標	①法と歴史との結びつきについて理解できる。 ②前近代日本の国家と法に関し、それらの形成と展開について理解し、説明できる。						

授業計画・内容		
	1	オリエンテーション
	2	「日本」国号の成立
	3	古代国家の形成
	4	成文法の始まり
	5	律令法の継受
	6	国家の領域の変遷と法
	7	古代国家の刑罰
	8	公家法と武家法
	9	戦国大名の分国法
	10	近世幕藩体制と法
	11	日本の周縁地域との関係と法
	12	西洋近代法制定へのつながり
	13	女帝と皇位継承
	14	いわゆる皇室典範改正問題
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	課題図書を読み、レポートを作成する（30 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	毎回、ノートとプリントから授業内容の要点を整理し、不明な箇所を調べておく（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	毎回のリアクションペーパーもしくは小テスト	60%	①、②
	学期中レポート	20%	①
	定期試験	20%	②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	毎時、プリントを配付する。
参考文献	講義中に適宜指示する。
その他	